

# 特定健診の検査項目と内容

下記項目が全て無料

★印は、前年度の健診結果等から医師が必要と判断した場合に実施します。前年度の健診結果をお持ちください。

検査項目			この検査でわかること	センター・地区 で受診	医療機関 で受診
身体 診察	肥満	身長・体重・BMI	適正体重かどうか、次の式で算出する。BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m) 25以上は肥満、18.5未満は低体重。	●	●
		腹囲	内臓脂肪が過剰にたまると、動脈硬化が進行し、糖尿病や心臓病、脳卒中などを引き起こしやすくなる。	●	●
	血圧測定	収縮期血圧	収縮期(最大)血圧は心臓から血液が送り出されるとき、拡張期(最小)血圧は心臓に血液が戻るときの血圧。高血圧は脳卒中中の最大の危険因子。	●	●
		拡張期血圧		●	●
血液 検査	血糖検査	空腹時血糖	血液中のブドウ糖濃度のことで、増えすぎると糖尿病が疑われる。	●	●
		HbA1c	過去1~2か月の平均的な血糖値を調べ、糖尿病の危険度をチェックする。	●	●
	脂質検査	中性脂肪	増えすぎは、肥満や脂肪肝、動脈硬化の原因になる。	●	●
		HDLコレステロール	善玉コレステロールともいい、血管壁に付着したコレステロールを運び去る役割がある。値が低いと動脈硬化や心臓病の危険がある。	●	●
		LDLコレステロール または Non-HDLコレステロール	LDLは悪玉コレステロールともいい、血液中の量が増えると血管内にたまり、動脈硬化を進行させる。Non-HDLは悪玉系コレステロールの総量を示す。	●	●
	肝機能検査	GOT	肝臓や心臓などの細胞に含まれる酵素。肝臓や心臓に異常があると、血液中の量が増える。	●	●
		GPT		●	●
		γ-GTP	肝臓の解毒作用に関係する酵素で、とくにアルコール性肝障害で数値が高くなる。	●	●
	腎機能検査	血清クレアチニン	老廃物の一種で、腎機能が低下すると血液中に増加する。	●	●
		血清尿酸	尿酸が過剰な状態を高尿酸血症といい、痛風を招く。	●	●
		eGFR	クレアチニンの値と性別、年齢から推算。腎臓が老廃物を排せつする能力を調べる。	●	●
	肝機能検査	LDH	糖代謝にかかわる酵素で、肝臓や心臓に障害があると数値が高くなる。	●	
	腎機能検査	尿素窒素	蛋白質の分解による老廃物の一種で、腎臓での排せつ機能に異常が生じると値が高くなる。	●	
	貧血検査	赤血球数	血液中の赤血球数を調べ、貧血等の疑いを検査する。	●	★
		ヘモグロビン	赤血球にある酵素を運ぶ蛋白質。減少すると貧血が疑われる。	●	★
		ヘマトクリット	血液中に含まれる血球の割合を調べ、貧血をチェックする。	●	★
その他の 検査	アミラーゼ	だ液腺やすい臓から分泌される消化酵素で、だ液腺やすい臓に異常があると数値が高くなる。	●		
	白血球数	病原体などを撃退する白血球は、体内に炎症などがあると数が増える。	●		
尿 検査	尿糖	尿中に糖が出ているかを調べ、糖尿病の危険度をチェックする。	●	●	
	尿蛋白	尿に蛋白が出ているかどうかを調べ、腎臓などの異常を見つける。	●	●	
	尿潜血	尿中に血液があるかどうかを調べる。腎臓、尿管、膀胱、尿道などの異常を発見する手がかりに。	●		
心電図検査 センター健診・地区健診のみ希望者へ500円にて実施			心臓の機能の状態を調べる。	★	★
眼底検査			目の奥の網膜の状態をみることで、動脈硬化の程度を調べる。	★	★